



2021年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月9日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス
 コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年7月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 堀田 欣弘
 (氏名) 金子 章裕
 TEL 03-3254-2501

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	826	35.3	143		142		130	
2020年2月期第1四半期	1,277	13.4	47	72.2	50	71.1	36	70.1

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 129百万円 (%) 2020年2月期第1四半期 35百万円 (70.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	4.93	
2020年2月期第1四半期	1.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第1四半期	5,285	4,695	88.8	177.90
2020年2月期	5,639	5,010	88.8	189.82

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 4,695百万円 2020年2月期 5,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		7.00	7.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,488	37.4	440		440		440		16.68
通期	3,258	28.4	680		680		680		25.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	32,237,249 株	2020年2月期	32,237,249 株
期末自己株式数	2021年2月期1Q	5,844,059 株	2020年2月期	5,844,059 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	26,393,190 株	2020年2月期1Q	26,393,190 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響からヒトやモノの動きが鈍化し、企業活動の停滞が見られ、景気は急速に悪化いたしました。

このような経済環境下、雇用情勢については、企業業績の不透明さや休業要請による飲食業、サービス業の活動停止等により採用の凍結等が生じており、当社の戦略地域である静岡県においては2020年5月の有効求人倍率が前年同月比0.52ポイント下降の1.06倍となり雇用環境の急速な悪化が進んでいます。

このような状況において当社グループでは、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けていない『ワガシヤ de DOMO』の拡販施策やオプション商品の開発に注力いたしました。また、コストについては求人紙媒体に係る直接コストの印刷費や求人情報サイトに係る広告販促費の圧縮、他経費の全面的な見直し等を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は826百万円（前年同四半期比35.3%減）となりました。売上原価は328百万円（前年同四半期比19.8%減）、販売費及び一般管理費は642百万円（前年同四半期比21.7%減）となりました。新型コロナウイルス感染症拡大による売上高の減少額をコスト圧縮では補うことができず、営業損失は143百万円（前年同四半期は営業利益47百万円）、経常損失は142百万円（前年同四半期は経常利益50百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は130百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益36百万円）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

（情報提供事業）

情報提供事業では、採用管理システムを顧客に提供する『ワガシヤ de DOMO』（サブスクリプション型課金モデル）の販売は拡大したものの、雇用環境の悪化の影響を直接受ける求人広告メディアの売上減少や合同企業面談会『シゴトフェア』等の開催中止により、売上高は663百万円（前年同四半期比36.7%減）、セグメント利益は35百万円（前年同四半期比82.7%減）となりました。

（販促支援事業）

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において、発行媒体の廃刊、休刊による取次量の減少や園児を抱える子育てファミリー層向けクーポン冊子の発行中止等により、販促支援事業における売上高は168百万円（前年同四半期比29.8%減）、セグメント利益は9百万円（前年同四半期比58.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が5,285百万円（前連結会計年度末比6.3%減）、負債が590百万円（前連結会計年度末比6.3%減）、純資産が4,695百万円（前連結会計年度末比6.3%減）となりました。また、自己資本比率は88.8%となりました。

資産の部では、流動資産が4,435百万円（前連結会計年度末比7.8%減）となりました。内訳として、現金及び預金が3,958百万円（前連結会計年度末比5.0%減）、売掛金が293百万円（前連結会計年度末比37.7%減）等となったためです。

固定資産は850百万円（前連結会計年度末比2.7%増）となりました。内訳として、有形固定資産が599百万円（前連結会計年度末比2.9%増）、無形固定資産が89百万円（前連結会計年度末比7.2%減）、投資その他の資産が161百万円（前連結会計年度末比8.2%増）となったためです。

負債は590百万円（前連結会計年度末比6.3%減）となりました。これは、未払金が354百万円（前連結会計年度末比13.3%減）、賞与引当金が35百万円（前連結会計年度末比49.4%減）等となったためです。

純資産は4,695百万円（前連結会計年度末比6.3%減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、剰余金の配当により利益剰余金が4,770百万円（前連結会計年度末比6.2%減）等となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期業績予想につきましては、2020年5月22日に公表いたしました業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,164,982	3,958,184
売掛金	471,525	293,934
その他	175,628	183,600
貸倒引当金	△806	△511
流動資産合計	4,811,329	4,435,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	121,530	119,578
土地	444,475	444,475
その他(純額)	16,928	35,533
有形固定資産合計	582,933	599,587
無形固定資産		
ソフトウェア	85,933	78,991
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	96,540	89,597
投資その他の資産		
その他	156,835	169,367
貸倒引当金	△7,859	△8,120
投資その他の資産合計	148,975	161,246
固定資産合計	828,449	850,431
資産合計	5,639,779	5,285,639
負債の部		
流動負債		
未払金	409,086	354,762
賞与引当金	69,915	35,347
その他	150,660	181,451
流動負債合計	629,662	571,560
固定負債		
リース債務	—	18,590
固定負債合計	—	18,590
負債合計	629,662	590,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,249	540,249
利益剰余金	5,085,137	4,770,242
自己株式	△1,076,000	△1,076,000
株主資本合計	5,005,383	4,690,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,756	7,756
為替換算調整勘定	△3,023	△2,758
その他の包括利益累計額合計	4,733	4,998
純資産合計	5,010,116	4,695,487
負債純資産合計	5,639,779	5,285,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	1,277,287	826,553
売上原価	409,004	328,055
売上総利益	868,283	498,498
販売費及び一般管理費	820,413	642,157
営業利益又は営業損失(△)	47,869	△143,658
営業外収益		
受取利息	37	36
受取賃貸料	210	210
持分法による投資利益	—	233
その他	2,138	2,947
営業外収益合計	2,386	3,427
営業外費用		
為替差損	—	1,044
その他	221	779
営業外費用合計	221	1,824
経常利益又は経常損失(△)	50,034	△142,055
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	50,034	△142,055
法人税、住民税及び事業税	2,728	408
法人税等調整額	10,774	△12,322
法人税等合計	13,502	△11,913
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36,531	△130,141
非支配株主に帰属する四半期純利益	385	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	36,146	△130,141

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36,531	△130,141
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△704	265
その他の包括利益合計	△704	265
四半期包括利益	35,827	△129,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,724	△129,876
非支配株主に係る四半期包括利益	103	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

現在の新型コロナウイルス感染症拡大に関する影響から、ヒトやモノの動きが鈍化している中、雇用情勢については、企業業績の不透明さや休業要請による飲食業、サービス業の活動停止等による採用の凍結等が生じており、当社の戦略地域である静岡県においては2020年5月の有効求人倍率が前年同月比0.52ポイント下降の1.06倍となり雇用環境の急速な悪化が進んでいます。当該事象は、税効果会計などの会計上の見積りの前提となる仮定を含め、今後の当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼすことが想定されます。

緊急事態宣言が解除されたものの、新型コロナウイルス感染症に関しては不確実なことが多く、感染症拡大防止の対応期間や影響について先の見通しが困難なところではありますが、当社グループは雇用環境の悪化による人材採用活動の停滞が当社グループの上半期末(2020年8月)まで継続し、下半期(2020年9月～2021年2月)から緩やかに改善していくものと想定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,048,048	229,239	1,277,287	—	1,277,287
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,945	10,945	△10,945	—
計	1,048,048	240,184	1,288,233	△10,945	1,277,287
セグメント利益	207,255	22,994	230,250	△182,380	47,869

(注) 1. セグメント利益の調整額△182,380千円は、セグメント間取引消去1,110千円及び全社費用△183,490千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	663,374	163,179	826,553	—	826,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,472	5,472	△5,472	—
計	663,374	168,652	832,026	△5,472	826,553
セグメント利益又は損失 (△)	35,869	9,453	45,323	△188,982	△143,658

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△188,982千円は、セグメント間取引消去1,119千円及び全社費用△190,102千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。